

春の阿波

阿波の春の訪れは清楚な梅の花とともにやってくる。

その兆しは津山の中心部より二週間くらいはおそい。しかし、雪の深かった今年、春の訪れはとくにおそく、岡山の後樂園の桜が散った四月中旬、阿波の梅はようやく花を開きはじめた。

大高下から東にすすんで落合溪谷に入ったあたり、小さな流れを背に、形のよい紅梅が満開の花をつけているのを見つけた(1)。

桜が咲くのはさらにおそく、四月二十日すぎである。阿波に入ると加茂川沿いに咲く染井吉野、少し西の山あいにあがった中土居に茅葺の一軒家があり、それを背にして咲く山桜(2)。阿波のもっとも北にある集落、大杉の古い茅葺屋根にかかる桜が目を楽しませてくれる(3)。

しかし、阿波で桜といえば「尾所おその山桜」である。阿波の中心、小学校や支所のある大畑から北西に道をとって少し上ると尾所という地区があり、そこに一本の樹齢五百六十年といわれる形のよい山桜の大木がある。四月の中旬から下旬にかけて満開となる。まだ七、八分咲きのころ、黄色い水仙をしたがえて青空に映える山桜の姿も美しいが(4)、やがて満開となり、小雨にけふる山を背景にした桜も潤いがある(5)。



1 溪流の早春



3 破風にかかる桜花



2 茅葺屋根に匂う山桜